

# 平成27年度「事業報告」

1、「サービス等利用計画」に基づいた「個別支援計画（ケアプラン）」の見直し

・改正法による「サービス等利用計画」に基づき「個別支援計画」の見直し作業を行う。入所利用の方の「サービス等利用計画」は、希望する事業所が障害者支援施設（施設入所支援＋生活介護）であることから、施設サービスの機能性に鑑み総合的な援助の方針は、ほとんどの方が「健康で暮らす」ことを最優先する内容になった。

・総合援助方針等を踏まえた「個別支援計画」作成においては、ケア会議に参加する利用者の方に「健康を維持しました予防するにはどうすればよいか？」を改めて確認する。導き出された目標や支援内容等は、サービス管理責任者を中心としてチームケアによりモニタリングを実施し評価する方針。

2、リスクマネジメントの体制を強化する

・「ヒヤリ・ハット」及び「事故」の速やかな報告と検討会議を徹底する。カンファレンスでは原因究明と再発防止策の具体的な検討を行う。

・パソコンシステムを活用し、支援者全員の情報共有化を推進し進める。あわせて転倒防止、褥瘡防止、誤嚥防止、感染症対策等各委員会との連携強化を図る。

・昨年度から取り組んでいる入所利用者の支援記録の保護者宛通知（3ヶ月単位）は、家族への連絡調整機能だけでなく、事業所のリスクマネジメントとしても有効と考えられる。

3、「生活介護」における「介護力のアップを目指す

・進行性疾患の利用者の方の医療支援にあわせ、生活支援員の「第三号研修」を登録研修機関として実施する。あわせて医療職によるOJTや外部研修等を活用する。

・国際福祉機器展等を通じて介助用の福祉機器を導入し、筋力の低下された方を中心に活用する。生活支援員等介助者の腰痛予防等にも効果が見られる。

4、「生活介護（生産活動）」の充実に努める

・授産時代同様、多くの方が提供場所（本所及び松川事業所）に関係なく「生産活動」を

希望される。培ってきた委託加工先企業との信頼関係を維持しながら、作業量の確保と良質な製品作りに努め、法令を遵守しながら正確な工賃配分を行う。あわせて業務省力化対策として運搬機材等を整備する。

・工賃収入（年額）  
3,924,052円

5、生活支援係の組織体制の見直し及び居住環境の改善について

・支援課生活支援係の組織は従来の3係制から2係制にして、「生産活動担当」は日勤ペースで専任化し、松川事業所はその他の係員が交替で対応する。加齢や障害の進行による医療・介護支援の増加と、昼間実施サービスのメイン「生産活動」の維持継続、そして松川事業所の運営。これらをどうリンクさせサービス提供するのか？再検討が必要となる。

・入所利用の方にとって居室の在り方は長年の懸案事項。利用される方と話し合い2カ月単位の部屋替えを提案、部屋割りは支援者サイドの決定からご利用者自身による抽選とする。この部屋替えを活用し業

務委託によるワックス掛けや荷物整理等を実施する。

6、マンパワーの充足（重度化に対応）

・昨年度半ばに夜勤2名体制となり、夜勤対応者の理想総数を16名（計8ペア）として増員を試みる。今後も利用者の動向（報酬と人件費とのバランスをみながらマンパワーの充足に努めていく方針。

7、計画相談支援の実施について

・新規で利用を開始される方のサービス等利用計画の作成と、阿智温泉療護園利用者の方の「モニタリング」を中心に特定相談支援事業における「計画相談支援」を実施する。

8、施設整備について

・年度当初の事業計画では、老朽化した床暖房・給湯・空調設備の改修と、トイレの修繕等を予定していたが、諸事情により来年度の実施に変更する。  
・太陽光発電設備工事を、売電単価や地域性によるメリット

## 平成27年度 苦情解決の結果

①職員の接遇に関するもの	0件
②サービスの質・量に関するもの	3件
③事故、被害、損害に関するもの	0件
④事業所運営等に関するもの	0件
⑤契約内容に関するもの	0件
⑥事業所の建物の構造に関するもの	1件
⑦利用者のトラブルに関するもの	0件
⑧その他( )	0件
合計	4件

## フレッシュ☆アイ

～新入職員の声～

新緑が目にも鮮やかとなり、気温も高く夏まであと少しだと感じる季節となりました。身体が季節についていくのがやっとなのですが、体調管理には気を使っていたいものです。

私は4月から環境ががらりと変わりましたが、毎日がとても新鮮でやりがいを感じながらも毎日過ごす事が出来ています。利用者の方々に支えられ、毎日がんばる事ができており、もっと頑張りたいと思います。

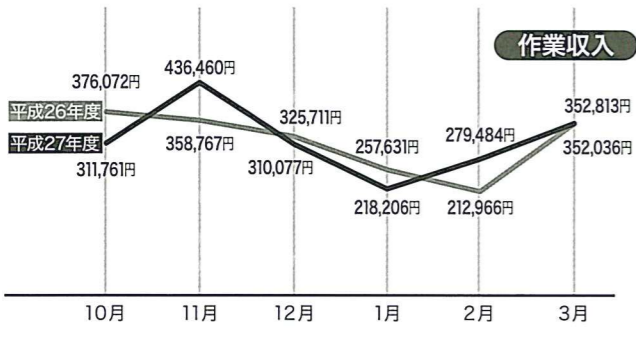
これからも、沢山の事を学び、吸収していけるよう努力していきたいです。

## 生産活動

生産活動は高森荘の大きな特徴です。その生産活動では本年度4月に約2年ぶりですが40万を超える出来高となりました。

「このところ高齢化や障害の重度化に伴い、作業量や活動時間の減少がされていましたが、高森荘を利用されている皆さんはまだまだ元気です。」

各企業の皆様の協力もあり、たくさん仕事を頂いて成り立っているわけですが、その企業ごとのニーズに応えたこの頑張りには驚きを隠せません。



今後も生産活動でさらなる成長を目指し、利用者職員共に丸となって高森荘を盛り上げていきたいと思えます。



## 節分

2月3日に行事として節分を行いました。今年度は、龍口老人クラブの皆様をお招きし豆まきを行い、大きな声で鬼を外へ追いやる事が出来ました。昼食は行事食としてイワシを食べ、一緒に歌を唄い、鬼の紙芝居を見たりと、老人クラブの皆様と交流を深めることが出来ました。

短い時間ではありましたが、お忙しい中ご参加して頂き、ありがとうございました。



## 春季火災避難訓練

まだまだ寒さが残り暖房が欠かせない3月末。高森荘では毎年この季節に春の火災



ヘルメット等の防災設備を更新しました！

避難訓練が行われます。

訓練の想定は、利用者、職員共に人数が最も多い平日の日中。多くの人が迅速かつ安全に避難を完了するためにはどのような事を心がけ行動すれば良いのか。それぞれが真剣に取り組みました。

避難完了後は、一人暮らしの通所利用者さんを中心とした消火器訓練や、防災教育のDVD鑑賞も行われ、火災について改めて考えさせられる一日となりました。

## 利用者忘年会

今年も利用者さんが楽しみにしていた忘年会が行われました。

手作りの物を含めた特別メニューの食事、ささやかながら楽しみにしてくれているプレゼント、わいわい盛り上がったゲーム、毎年趣向をこらした職員之余興。特にアドリブの連発で、笑いを誘った職員之余興には大爆笑。

ゆったりと家族的な雰囲気の中、年忘れの会は無事幕を閉じました。

## 双葉会交流会



平成28年1月27日、双葉会の皆さんとの交流会が高森荘、食堂で行われました。

双葉会の皆さんより「やさき節」のユーモアある踊りや、オカリナ、ハーモニカの素敵な演奏、いろいろに変化する南京玉すだれを披露して頂きました。途中、高森荘の利用者さんとサザエさん体操もして楽しみました。利用者さんからはカラオケの歌の披露もありました。最後は双葉会の皆さんの迫力あるスコップ三味線の演奏で終わりととなりました。心温まる楽しい会となりました。双葉会の皆さん、ありがとうございました。

# With

利用者と共に

職員と共に

地域と共に

vol.35 2016.6/1



発行所 障害者支援施設 高森荘  
〒399-3101 長野県下伊那郡高森町山吹4473-1  
TEL.0265-35-6811 FAX.0265-35-6812  
E-mail: t356811@takamori.ne.jp

発行者 高森荘施設長 入野友宏

高森荘からの情報発信 ウィズ



山吹ふれあい広場

ある日の高森荘

## —調理の現場から— 食事のくふう。

新緑がまぶしい季節となり、いよいよ夏が近く感じられる頃となりました。高森荘でもナスやトマト、ピーマンなどといった夏野菜を使用した献立が少しずつ増えてきました。

旬に収穫された夏野菜は味も濃く、栄養分も旬ではない時に比べ2倍以上も多く含まれているようです。

また、夏野菜は水分やカリウムを多く含み、暑さで火照った体を冷やす効果がある為夏本番に向けて積極的に摂取していきたいものです。

利用者さんの高齢化や体調不良による食形態の変化も多い中、利用者さん1人ひとりが少しでも食べやすい、美味しいと感じてもらえるよう工夫し、旬の食材を使った様々なメニューや行事食を通して食べる事の楽しさ、季節を感じてもらえたら嬉しいです。

## 2015年12月～2016年5月行事

紙面の写真・氏名については、利用者、ご家族、職員の同意を得て掲載しております。



忘年会

12/9 一日園長

山吹区長 秋田益穂 様

12/16 忘年会

12/25 おやす作り

上平老人クラブ 5名

双葉会交流会 1/27

2/3 節分・交流会

龍口老人クラブ 7名

山吹ふれあい広場 3/3

参加人数13名

山吹ふれあい広場 春季火災避難訓練 3/30

障害者  
支援施設  
高森荘

完全参加

一日園長

おやす作り

節分

節分・交流会

## ハンドケア

日中活動の充実  
ハンドケアへの取り組み

当施設では重度身体障害者授産施設だった特色を生かし障害者支援施設へと移行後も生産活動(委託加工)を中心とした日中活動を展開してきました。しかし近年、個々の多様な生活スタイルや心身の状況に合わせた日中活動の提供が課題として挙げられていました。

そんな折、ハンドセラピストの資格を取得されている桐山先生、林先生に月1度来園していただき「ハンドケア」を実施する事となりました。ハンドケアの効果として血液循環が促されることで脳の活性化や冷えや肩凝りなどの改善が期待されたり、愛情ホルモンと呼ばれるオキシトシンの関与があると言われております。更に自己肯定感や信頼感が醸

成されるとの事です。ハンドケアを受けられた利用者さんからも「気持ちよかった」「リラックスできた」「体が温まった」等大変好評を頂いています。今後も、より質の高いサービスを提供する為に更に日中活動の充実に向けていきたいと考えています。

## 利用者保護者交流会

11月29日(日)利用者保護者交流会が行われました。今年度はフラダンスチーム「ALOHHA」の皆さんと鼎中学校吹奏楽部の皆さんにご出演頂きました。

優雅なフラダンスに酔いしれ、迫力ある吹奏楽の演奏に心を打たれ、「よかった」「また来てほしい」と言う声が続々と聞かれ、楽しい一日を過ごす事が出来ました。

## 編集後記

こうして広報誌を作成しながら高森荘の行事を振り返ると、地域の皆様に支えられて運営出来ている事を強く感じます。

これからも皆様に、高森荘の活動が広く、解りやすく伝わるような広報誌が作成出来るように、二層の努力をしたいと思います。

## 利用者作品俳句

サトウぜん とうげん  
満天の生垣続く駐車場  
全勝が 優勝飾る白鷺也  
西島悦代